

あかるいまち 21

No.1767 2025年12月6日
組合員活動推進課 082-532-1264

	12月	2025年度
組合員ふやし	31人	911人
出資金ふやし	229万円	8,855万円
純 増	13万円	△2,488万円

生協わくわくぱーていーで署名活動 「病院が無くなったら困るよね」



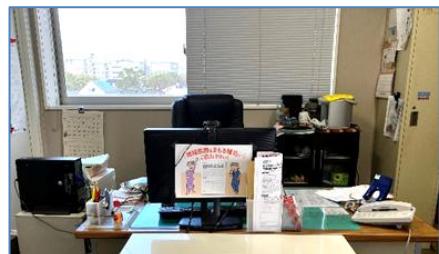
11月22日（土）の生協わくわくぱーていーにて、「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願署名」をお願いしました。診療報酬のマイナス改定や物価高・消費税負担で増える費用など、多くの病院が深刻な経営難へ陥っています。このままでは本当にある日突然、まちの医療機関がなくなり、安心して暮らすことができなくなるかもしれません。

わくわくぱーていーには、普段は関わりの少ない子育て世代の方が多いですが、署名へのご協力をお願いすると、快く応じていただきました。中には、「病院がなくなったら困るよね」と話しながら署名をしてくださるご家族の方もあり、医療機関がなくなってしまう事への危機感は、どの世代においても重大かつ切実であると再認識することができました。



目に入るように署名のお願い～専務室の取り組み～

専務の田中です。地域医療を守る緊急行動の署名が12月末までと、あと一か月のラストスパートをかける時期となりました。職員や組合員のみなさまに、最終盤の取り組みを呼びかける立場でありながら、先日、専務室にお客さまが来られた時に、署名ご協力のお願いをしないままお帰りしてしまいました…。すぐに反省して、専務室に入る前からも、面談中も「署名協力のお願い」がどうしても目に入るような仕組みづくりを進めました！ 本日からの来客者にはもれなく呼びかけをしております。みなさん共感して快く協力してくださいます。今のこの運動が、次年度の診療報酬改定や医療・介護情勢に直結します。経営を守り、職員のみなさんの生活を守り、組合員さんの願いに応える事業内容とするために、みなさん、ともに頑張りましょう!! (2025年12月3日記)



懇談するために座っても「署名のお願い」が目に入れます。



専務室のドアを開けると…

専務室に入ろうとすると署名のお願いチラシが目に入れます。